



えんだま まいつきなんまいつく 1円玉は毎月何枚作られているの

つき まんまい ひと月に7600万枚

えんだま は、スーパーなどで買い物をする^かと、つり銭^{せん}として渡^{わた}されます。消費税^{しょうひぜい}の分^{ぶん}があるため、どうしても1円玉^{えんだま}がまじったつり銭^{せん}となります。家庭^{かてい}で使^{つか}われていない1円玉^{えんだま}もたくさんあって、その数^{かず}はとても多^{おほ}いのです。

したがって、1年間^{ねんかん}に作^{つく}られる量^{りょう}も、硬貨^{こうか}の中^{なか}ではいちばん多^{おほ}くなっています。ちなみに、平成8年度^{へいせいねんど}の1年間^{ねんかん}に作^{つく}られた1円玉^{えんだま}は、合計^{ごうけい}9億1000万枚^{おくまんまい}です。ひと月平均^{つきへいきん}にすると、約7600万枚^{やくまんまい}となります。

はっこうまいすう えんだま えんだま じゆん 発行枚数は、1円玉、10円玉の順

いま日本^{にほん}で作^{つく}られている硬貨^{こうか}を、多^{おほ}く発行^{はっこう}されているものから並^{なら}べると、1円玉^{えんだま}、10円玉^{えんだま}、5円玉^{えんだま}、100円玉^{えんだま}、50円玉^{えんだま}、500円玉^{えんだま}の順^{じゆん}です。なお紙幣^{しへい}として発行^{はっこう}されているものは、1000円^{えん}、5000円^{えん}、10000円^{えん}の3種類^{しゅるい}です。

硬貨^{こうか}は、紙幣^{しへい}にくらべると長持ち^{ながもち}するので、以前^{いぜん}は紙^{かみ}のお札^{さつ}だったものが、ほとんど硬貨^{こうか}に変わ^かりました。

硬貨^{こうか}の場合^{ばあい}、そのお金^{かね}で無人^{むじん}の自動販売機^{じどうはんばいき}などが利用^{りよう}できる、という長所^{ちやうしょ}があります。街角^{まちかど}や人の集まる会場^{あつがいじょう}などにおかれていた自動販売機^{じどうはんばいき}の商品^{しょうひん}、駅^{えき}の自動販売機^{じどうはんばいき}であつかつている切符^{きっぷ}などが、硬貨^{こうか}を使^{つか}って買^かうことができるからべりです。

(監修・保岡 孝之)

